

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	強震観測小委員会	主 査 名：中村 充 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：宮本裕司
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>強震観測とその利用に関する研究と技術開発を推進し、そのための環境整備を通して、建築物・都市の地震災害軽減に資することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強震観測の実施、データの収集・整理、分析、および被害把握・災害対応への応用に関する検討 (2015～18) ・観測記録に基づく建物・地盤の地震応答に関する現象解明 (2015～18) ・上記を推進するための環境整備、資料収集整備、普及啓発 (2015～18) 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：中村充 (大林組) 幹事：植竹富一 (東京電力)、大野晋 (東北大) 委員：相澤幸治 (気象庁)、赤澤隆士 (地域地盤環境研究所)、池浦友則 (鹿島建設)、 鹿嶋俊英 (建築研究所)、功刀卓 (防災科研)、猿田正明 (清水建設)、 高井伸雄 (北海道大)、飛田潤 (名古屋大)、三浦弘之 (広島大)、 山本優 (大成建設)、吉田治雄 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)	強震観測成果普及検討WG ：過年度までの活動において構築整備が進められている「強震観測アーカイブ」を中心として、強震観測とその成果の普及啓発に向けての実際的な方法論の検討を行う。	
2015 年度予算	230,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://wiki.arch.ues.tmu.ac.jp/smo_aj/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. シンポジウム「東日本大震災から 5 年 ― 建築振動工学の到達点と残された課題」 (振動運営委員会全小委員会で共同) 参加者数 195名 『同名資料』
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会・WG 等において、各地域や機関の観測事例、最新の観測機器とシステム、データ活用の動向などに関する情報交換と検討を行い、当該分野の連絡会としての機能を果たした。特に今年度は、小委外部の識者による講演を実施し、強震観測の現状と課題についての意見交換、議論を行った。 2. 普及資料「強震観測の手引」と基礎資料「国内強震観測台帳」の拡充、オンライン公開を行うとともに、それらをまとめた強震観測アーカイブの活用方法について議論を深めた。 3. 強震観測データの分析に基づく建物・地盤特性把握の検討を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 強震観測の普及とデータ活用に向けた継続的な取り組み 2. 関連する他の小委員会、関連学協会等との情報交換、連携